

心配された天気も崩れることなく多くの方が来場されました。



昨年、大雨のため中止となったびっく良佳村フェスティバル。しかし今年は天候にも恵まれ、大いに盛り上がりました。その様子を写真とともにふり返ります。



今年もたくさんのお店がありました



かき氷で頭がキーンツ



MCのふたり、盛り上げます

ママの働き方応援隊びっく校によるハイハイヨチヨチレース！白熱のレース展開



キレのあるダンス♪

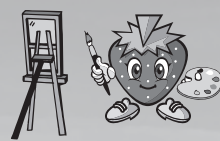


気分はワールドカップ！いちごちゃん半端ないって！



小学生・中学生・高校生のみんな！きみだけの「大雪山」を描いて応募しよう♪

大雪山 絵画グランプリ



8/31 締切

- 【テーマ】「比布から見た大雪山のある風景」
- 【応募方法】画材は絵の具、クレヨン、パステル、色鉛筆など自由。サイズは四つ切り画用紙で、作品の中に必ず「大雪山」を描くこと。裏面に題名、氏名、学年、電話番号を記入してください。
- 【応募資格】比布町内在住の18歳以下の方
- 【作品賞】大賞（1名）特別賞（2名）入選（5名以内）
それぞれに豪華記念品贈呈
- 【応募先】役場総務企画課まちづくり推進室広報係
中央小学校・比布中学校・くるみ保育園

問い合わせ
役場総務企画課
まちづくり推進室広報係
☎ 85-4802

君の夢。プロジェクト

your dream



「君の夢プロジェクト」とは、子どもたちが通常では体験できない「本物」を体験することで、夢を持って学校生活を過ごすとともに、故郷「比布町」に誇りを持ってもらえるような感動づくりを促す事業です。今回、君の夢プロジェクトの一環として実施された二つの事業を紹介します。

心に響く道徳講話 「思うは招く」植松努

6月18日、比布中学校で植松電機の植松努さんによる講演会が行われました。植松さんは赤平市でCAMUIロケットを作成するなど、民間宇宙開発事業者のパイオニアとして活動しています。

講演会では「思うは招く」と題し、夢をかなえるためにはどうすれば良いのかや、夢を持つことの大切さについて話を聞きました。

講演終了後、「やればできる、やってみなければ分からない」を体感するために、生徒全員が本物のロケットを作成。ロケットは時速200キロメートル以上のスピードで打ち上がり、上空で自動的にパラシュートが開き着陸するという本格的なもの。制作に先立ち植松さんが説明したのは「一分からなければ、まわりのみんなに助けを求めよう」というアドバイスだけ。あとは自分たちで説明書を読み解き、まわりの友達と協力しながらロケットを組み上げました。そして最後に自分で作ったロ

ケットを自分で点火、打ち上げました。自分が作ったロケットを打ち上げる瞬間、緊張はマックスに。まわりも固唾を飲んで見守る中、ロケットが無事に打ち上がると生徒たちは喜びを爆発させました。



比布中学校3年生 修学旅行報告会

6月13日、比布中学校3年生32人による修学旅行報告会が保護者を招いて行われました。

4月24日から3泊4日の日程で実施された修学旅行ですが、平成27年度から行き先を東京に変更し、「君の夢プロジェクト」事業の一環として旅費の半分を町で負担しています。

1日目は、全員で最高裁判所、国会議事堂を訪ねて見学したほか、皇居、警視庁、迎賓館を車窓見学しました。

2日目は、「個人選択研修」。5コースに分かれて、普段行くことのできない日本銀行や警視庁などを回り、キャリア研修などを実施。自分の将来に役立つ材料になる研修だったと発表しました。

3日目は「自主研修」。生徒自らが行き先を選び、交通手段を調べるなど、入念に準備をしてきました。浅草寺や明治神宮、スカイツリーなどを見学したり、渋谷のスクランブル交差点を渡ったグループも。比布町とは違う歴史の

深さや文化に触れ、人口の多いところから流行が始まることを感じた発表しました。また初めての試みとして、「比布宣伝プロジェクト」を実施。外国人に英語で話しかけ、観光パンフレットやスノーペリーちゃんの缶バッジを手渡し、比布町の良さをPR。「比布町に行ってみよう」と言われて嬉しかったと語る生徒や、イタリア人に話しかけ、互いにカタコトの英語で会話した生徒、全く英語が伝わらず失敗した生徒など、たくさんの思い出が発表されました。

最終日は、「東京ディズニーリゾート研修」。前日に行われた「ホテルセミナー」で学んだ、おもてなしの心に触れながら、ディズニーランドとディズニーシーに分かれて研修しました。

